

故障かな？ と思ったら

- ◎ 機械を操作中、何らかのトラブルが発生すると、操作パネルの表示窓にエラー番号が表示されます。その場合は下記の表で内容をご確認いただき、対応をお願いします。
簡単な点検で正常に戻らない場合は、販売代理店または弊社相談窓口へご連絡下さい。



警告

電気ボックスおよびインバーターボックス内は非常に危険です。
電気ボックスまたは、インバーターボックスを開けて作業を行う時は、指示されたところ以外には絶対に触れないでください。

参考

各種センサーおよび押ボタンの取り付け場所については、末尾の添付図面「センサー配置図」を参照してください。



注意

エラー表示で、「EEE」、[EE1]、[EE2]、[EE3]、[EE4]、[EE5]のいずれかが表示された場合は、一旦電源スイッチをオフにして 5 秒以上経ってから再度、電源スイッチをオンにしてください。

それでも復帰しない場合は、販売代理店または弊社相談窓口へお問い合わせください

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検および確認いただく内容
E1	1. 非常停止ボタン
	2. 非常停止ボタンが押されています。
	3. (1)非常停止ボタンのロックが解除されていません。押したままになっているボタンを時計回り(→方向)へ回転させてボタンのロックを解除します(表示が「— 1」に変わります)。次にリセットボタンを押してください。 (2)非常停止ボタンのロックが、解除されているにもかかわらずエラーが表示される場合は、非常停止ボタンまたは配線の異常です。非常停止ボタンの故障または配線(断線など)の確認をしてください。
E10	1. インバーターエラー
	2. インバーターに何らかの異常があります。
	3. インバーターの異常で本機が停止した場合は、一度電源スイッチをオフにして、インバーター内部が冷えるまで待ってから(2分以上)、再度電源スイッチをオンにしてください。インバーター内部の部品が高温になっているため、すぐに電源を入れると再び異常になる恐れがあります。上記の作業を行ってもインバーターが動作しない(エラーが解除できない)時は、販売代理店または弊社相談窓口へお問い合わせください。
E11	1. 上コテアーム閉じ時間エラー(早すぎ)
	2. アームが閉じる時間が早すぎます。
	3. (1)エアー圧力計が規定圧力(0.5MPa)になっているか確認してください。12 ページの「操作手順“エアーを入れてください。”」を参考に点検・調整を行ってください。 (2)オイルダンパーのオイル量を点検してください。(33 ページ、日常点検-7.オイルダンパーのオイル量の点検を参照) (3)上コテアームシリンダーのロッド側のスピードコントローラを、時計回りに少しずつ回してスピード調整をしてください。調整してもスピードが変わらない時は、スピードコントローラの故障が考えられます。

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検および確認いただく内容
E12	1. 上コテアーム閉時間エラー(遅すぎ)
	2. 上コテアームの閉じる時間が遅すぎます。
	3. (1) エアー圧力計が規定圧力(0.5MPa)になっているか確認してください。12 ページの「操作手順“エアーを入れてください。”」を参考に点検・調整を行ってください。 (2) 上コテアームシリンダーまたは、電磁弁(No.1)等からエアー漏れがないか確認してください。 (3) 上コテアームシリンダーのロッド側のスピードコントローラを、反時計回りに少しずつ回してスピード調整をしてください。調整してもスピードが変わらない時は、スピードコントローラの故障が考えられます。
E13	1. 上コテプレス閉時間エラー(遅すぎ)
	2. 上コテのプレス閉じ時間が遅すぎます。
	3. (1) エアー圧力計が規定圧力(0.5MPa)になっているか確認してください。12 ページの「操作手順“エアーを入れてください。”」を参考に点検・調整を行ってください。 (2) 上コテプレスシリンダーまたは、電磁弁(No.2)等からエアー漏れがないか確認してください。 (3) 上コテプレスシリンダーのロッド側のスピードコントローラを、反時計回りに少しずつ回してスピード調整をしてください。調整してもスピードが変わらない時は、スピードコントローラの故障が考えられます。
E20	1. 左スタートボタンエラー
	2. 左スタートボタンが 0.5 秒以上押されたままになっています。(Dip 3 が OFF の時)
	3. (1) 左スタートボタンが押されたままになっていないか確認してください。 (2) 左スタートボタンの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E21	1. リセットボタンエラー
	2. リセットボタンが 15 秒以上押されたままになっています。
	3. (1) リセットボタンが押されたままになっていないか確認してください。 (2) リセットボタンの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E22	1. 左スタートボタンエラー
	2. 左スタートボタンが 15 秒以上押されたままになっています。
	3. (1) 左スタートボタンが押されたままになっていないか確認してください。 (2) 左スタートボタンの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E23	1. 右スタートボタン
	2. 右スタートボタンが 15 秒以上押されたままになっています。
	3. (1) 右スタートボタンが押されたままになっていないか確認してください。 (2) 右スタートボタンの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E24	1. スチームペダルエラー
	2. スチームペダルが 15 秒以上押されたままになっています。
	3. (1) スチームペダルが踏まれたままになっていないか確認してください。 (2) スチームペダルスイッチの故障又は配線(断線など)を確認してください。

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検および確認いただく内容
E25	1. 左バキュームペダルエラー
	2. 左側のバキュームペダルが3分以上押されたままになっています。
	3. (1)左側のバキュームペダルが踏まれたままになっていないか確認してください。 (2)左側のバキュームペダルスイッチの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E26	1. ブロワーペダルエラー
	2. ブロワーペダルが3分以上押されたままになっています。
	3. (1)ブロワーペダルが踏まれたままになっていないか確認してください。 (2)ブロワーペダルスイッチの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E27	1. 右バキュームペダルエラー
	2. 右側のバキュームペダルが3分以上押されたままになっています。
	3. (1)右側のバキュームペダルが踏まれたままになっていないか確認してください。 (2)右側のバキュームペダルスイッチの故障又は配線(断線など)を確認してください。
E41	1. 上コテアーム閉時間エラー(早め) ※エラー番号は表示しますが、操作は続行可能です
	2. アームが閉じる時間が通常より早めです。
	3. (1)エアー圧力計が規定圧力(0.5MPa)になっているか確認してください。12ページの「操作手順“エアーを入れてください。”」を参考に点検・調整を行ってください。 (2)オイルダンパーのオイル量を点検してください。(33ページ、日常点検-7.オイルダンパーのオイル量の点検を参照) (3)上コテアームシリンダーのロッド側のスピードコントローラを、時計回りに少しずつ回してスピード調整をしてください。調整してもスピードが変わらない時は、スピードコントローラの故障が考えられます。
E42	1. 上コテアーム閉時間エラー(遅め) ※エラー番号は表示しますが、操作は続行可能です
	2. アームが閉じる時間が通常より遅めです。
	3. (1)エアー圧力計が規定圧力(0.5MPa)になっているか確認してください。12ページの「操作手順“エアーを入れてください。”」を参考に点検・調整を行ってください。 (2)上コテアームシリンダーまたは、電磁弁(No.1)等からエアー漏れがないか確認してください。 (3)上コテアームシリンダーのロッド側のスピードコントローラを、反時計回りに少しずつ回してスピード調整をしてください。調整してもスピードが変わらない時は、スピードコントローラの故障が考えられます。
E43	1. 上コテプレス閉時間エラー(遅め) ※エラー番号は表示しますが、操作は続行可能です
	2. 上コテのプレス閉じ時間が通常より遅めです。
	3. (1)エアー圧力計が規定圧力(0.5MPa)になっているか確認してください。12ページの「操作手順“エアーを入れてください。”」を参考に点検・調整を行ってください。 (2)上コテプレスシリンダーまたは、電磁弁(No.2)等からエアー漏れがないか確認してください。 (3)上コテプレスシリンダーのロッド側のスピードコントローラを、反時計回りに少しずつ回してスピード調整をしてください。調整してもスピードが変わらない時は、スピードコントローラの故障が考えられます。

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検および確認いただく内容
E98	1. 表示基板外部入力エラー
	2. 表示基板の入力が誤作動しました。
	3. (1)表示基板に入力コネクタに異常がないか確認してください。 (2)表示基板上にゴミがないか確認してください。エアブロー等で基板の清掃を行ってください。 (3)(1)、(2)を行っても改善されない場合は、表示基板の交換が必要です。
E99	1. 24V エラー
	2. いずれかの安全バーが振動等で一瞬作動しました。
	3. リセットボタンを押すとエラーは解除されます。 何度も発生する場合は、衝撃が大きい箇所(特にエラーが発生した時の動作部分)のスピコン調整を行ってください。

*** E41～E43 について**

エラーは表示しますが、操作は続行可能です。アームが初期位置に戻ればエラー表示は解除されます。またリセットボタンを押すことで エラー表示を解除することも可能です。

但し、そのまま使用を続けると、E11～E13 のいずれかのエラーに変わり、機械は停止状態となってしまいます。その前にエラーを解消してください。